

## 研修利用の充実事業

### 「第1回利用団体のための研修会」

#### 1. 趣 旨

国立赤城青少年交流の家を利用する団体の引率者が、施設の利用方法や各活動プログラムの内容を理解するとともに、実際にプログラムの一部を体験する。

#### 2. 事業の概要

##### (1) 期 日

令和5年5月9日（火）、5月10日（水）

##### (2) 参加者

①参加対象 令和5年度利用団体、利用の仕方の説明を希望する各団体の引率者

Aコース：6月 5日～8月31日ご利用の団体

Bコース：5月11日～8月31日ご利用の団体

②参加人数 5月 9日（火）Aコース（応募 6団体 7名）

Bコース（応募11団体12名）

5月10日（水）Aコース（応募 5団体 6名）

Bコース（応募 6団体 6名）

③参加者の内訳 小学校教諭20名、中学校教諭9名、社会教育団体指導者2名（職員7名）

#### 3. 企画運営のポイント

(1) 施設説明を主としたAコースと体験を主としたBコースを利用期間に応じて選択できるように計画した。

(2) 両コースともゆとりある時間配分にして、参加者からの質問を受けやすい体制を整えた。

(3) 開催日を平日に設定し、学校職員が出張で参加できるようにした。

#### 4. 日程

	午 前	午 後
Aコース	開会行事 施設利用説明 施設見学	施設見学 個別打ち合わせ アンケート記入
Bコース	開会行事 野外炊事「カレーライスづくり」	野外炊事「カレーライスづくり」 アドベンチャーラリー アンケート記入

## 5. 主な活動内容



開会式



施設利用説明



施設見学（館内）



施設見学（館外）



野外炊事体験「カレーライスづくり」



アドベンチャーラリー体験

## 6. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

満足28名（90%）、やや満足3名（10%）

### (2) 参加者の声

- 計画立案にあたって、企画指導専門職の経験談を聞いたので参考になった。
- 教師側の考えを理解している方が多く、活用しやすい研修だと思った。
- 活動計画について詳しく説明してくれて、プログラムの内容や時間がはっきりとしてよかった。
- カレー作りの道具や食材の内容、場所、手順が分かり、本番へのイメージができた。調理器具の洗い方のポイントが分かり、生徒に具体的な指示が出せると思った。
- 傾斜がきついところもあり、地図だけでは分からないところが歩いてみて分かった。

### (3) 成果

- 「打ち合わせが丁寧で助かった。（Aコース）」「野外炊事を実際に体験して、道具などの場所や片付け方が分かった。（Bコース）」等の感想が多いことから、研修コースを選択制にしたことで参加者のニーズに応じたものになったといえる。
- 「作業の合間に質問に答えてもらうことができありがたかった。」「野外炊事以外の質問にも答えてもらえた。」等の感想から、参加者にとってゆとりのあるプログラムであり、本番の引率を想定し研修を行えたと考える。
- 80%以上の参加者が、アンケートで、「平日開催のほうがよい。」と回答していたことから参加者のニーズに応じた設定であったと考える。
- 平日開催にしたため学校利用団体の人数が1団体1～2名で少数となった。そのため、研修の質が高く、参加者の満足度が高いものとなった。

### (4) 課題

- 第2回は、学校が夏季休業中に行う予定であるため、応募人数に応じて研修のスケジュールの組み直しをするとともに、募集段階で1団体からの参加人数に制限をかける必要も考えられる。

担当：小林大輔